平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	65　みんなのヘルスアクション創出事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－２－（1）－ア 沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進
担当部課名	保健医療部健康長寿課	事業実施（予定）年度	H28 ～ R2 年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－４

事業内容

①広報イベント事業
　働き盛り世代の生活習慣の改善及び健康作りの正しい知識の普及を図るため、健康意識の向上や行動変容を促す広報・イベント実施する。
　具体的には、商業施設等で約1000人の集客を見込んだ参加体験型の健康づくりのブースや各種ステージアトラクション、講演会等イベントを開催する。
※働き盛り世代とは、20歳～64歳の世代を指す。

②事業所等支援事業
　事業所が健康経営に取り組みやすいように環境を整えるため、職場における健康づくりの実態調査を実施し、健康経営の普及促進に係る課題抽出及び対応策を検討する。検討した結果に基づき健康経営ハンドブックを改定し、事業所へ配布する。

③市町村生活調査等実態調査事業
　市町村が、住民の生活習慣等の把握するための、健康実態調査の手法や評価方法のマニュアルを作成するため、モデル市町村におけるプレ調査を実施する。

効果発現年度　■当年度　　■後年度（ R2 年度）

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】

	H28年度	H28年度（繰越）	H29年度	H29年度（繰越）	H30年度
予算の状況 (a)当初予算額	70,000		223,723		32,974
予算の状況 (b)予算現額	70,000		223,723		32,974
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
予算の状況 (d)前年度繰越額					
予算の状況 A．計(b+d)	70,000	0	223,723	0	32,974
B．執行済額	70,000		223,723		32,847
うち交付金充当額	56,000		178,978		26,277
C．次年度繰越額	0		0		0
執行率（％）（B/A）	100.0%	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	99.6%

予算の状況の説明
・平成30年度予算は、事業実施にかかる委託料及び旅費として計上しており、平成29年度予算に比べ190,749千円減額となっているのは、テレビ・ラジオCM及び新聞広告等の各種メディアでの広報を廃し、イベント実施による広報としたことによる。
・執行率が99.6%となっているのは旅費の執行残であり、委託料については適正に執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

H30活動目標（指標）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
働き盛りの世代の健康意識の向上や行動変容を促す広報イベントや県内企業における健康づくりへの取り組みの実態調査等の実施及びモデル市町村での調査結果の集計・分析、マニュアル検討会の開催	目標				広報イベントの実施、県内企業実態調査、ハンドブック改訂及び調査結果の集計・分析、マニュアル検討会の開催
	実績				広報イベント実施（3回）、県内企業実態調査（30社）、健康経営ハンドブック改訂及びマニュアル検討会を開催し、調査結果の集計・分析を行った。

達成状況説明
・広報イベント事業については、他団体との共催によるイベントの開催等、健康づくり以外の関心事を入り口として広く県民に周知を行った。
・事業等支援事業については、県内企業（30社）を対象とした実態調査とその結果を精査し、沖縄版健康経営ハンドブックを改訂して商工会議所等を通じて県内企業へ配布した。
・マニュアル作成のための検討会議を3回開催した。会議では、マニュアル案作成のほか、調査結果の集計・分析方法について検討し、調査結果報告書としてまとめた。

<table>
<tr><td rowspan="12">成果目標
（指標）
及び進捗状況</td><td colspan="2">H30成果目標（指標）</td><td></td><td>基準値
（〇〇年度）</td><td>H28年度</td><td>H29年度</td><td>H30年度</td><td>目標値
（R1・2年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">①広報イベント事業
働き盛り世代の健康に関する指標の改善
・がん検診の認知度及び関心度</td><td>目 標</td><td>ー</td><td>認知度 27.3%
関心度 67.0%</td><td>認知度 30.3%
関心度 70.0%</td><td>認知度 39.9%
関心度 68.7%</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>実 績</td><td>ー</td><td>認知度 36.9%
関心度 65.7%</td><td>認知度 49.9%
関心度 67.9%</td><td>認知度 40.6%
関心度 65.0%</td><td>ー</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">①広報イベント事業
働き盛り世代の健康に関する指標の改善
・生活習慣病のリスクを高める飲酒量の認知度及び関心度</td><td>目 標</td><td>ー</td><td>認知度 34.0%
関心度 57.4%</td><td>認知度 37.0%
関心度 60.4%</td><td>認知度 22.5%
関心度 62.6%</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>実 績</td><td>ー</td><td>認知度 19.5%
関心度 59.6%</td><td>認知度 54.0%
関心度 63.3%</td><td>認知度 32.8%
関心度 61.6%</td><td>ー</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">②事業所等支援事業
・健康経営ハンドブックの改訂及び事業所への
2千部配布</td><td>目 標</td><td>ー</td><td></td><td></td><td>実施する。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>実 績</td><td>ー</td><td></td><td></td><td>実施した。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">③市町村生活習慣等実態調査事業
・モデル市町村における調査結果の集計・分析、結果報告書の作成</td><td>目 標</td><td>ー</td><td></td><td></td><td>実施する。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>実 績</td><td>ー</td><td></td><td></td><td>実施した。</td><td>ー</td></tr>
<tr><td colspan="2">【R1 成果目標】
②事業所等支援事業
健康経営に取り組む事業所数</td><td>目 標</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>186カ所</td></tr>
<tr><td colspan="2">【R2 成果目標】
③市町村生活習慣等実態調査マニュアル確立事業
・マニュアルを活用して、健康増進計画等の評価のための生活習慣等実態調査を実施した市町村数</td><td>目 標</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td><td>19市町村</td></tr>
<tr><td>進捗状況説明</td><td colspan="7">・広報イベント事業では、マスコミ等を利用した広報を廃し、参加型イベントの実施による広報に注力したところ、目標とした指標については認知度が目標を達成したものの関心度は目標値をわずかに下回った。
・市町村生活習慣等実態調査事業では、マニュアル検討会議を通じて調査結果の集計・分析を行い、調査結果報告書及びマニュアル案を作成した。</td></tr>
</table>

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・対象となる働き盛り世代や事業所の状況に応じて、健康意識の向上につながるメッセージを工夫し発信する必要がある。 ・他団体の取り組みで連携できるものがあるか情報収集を行う必要がある。 ・市町村生活習慣等実態調査では、調査結果の集計・分析を行い、その手順をマニュアル案に記載したが、マニュアルを活用していく市町村にとってわかりやすい記載となっているか確認作業等が必要である。	・健康に関心の低い層にアプローチするには、個人だけではなく、地域や職場等において健康づくりを実践しやすい社会環境づくりを推進する必要があることから、健康づくり以外の関心事を入口として健康づくりに関連する知識の定着や健康づくりの実践に結びつける発想が必要である。 ・市町村生活習慣等実態調査事業については、引き続きマニュアル検討会議等で記載内容の確認を行う必要がある。

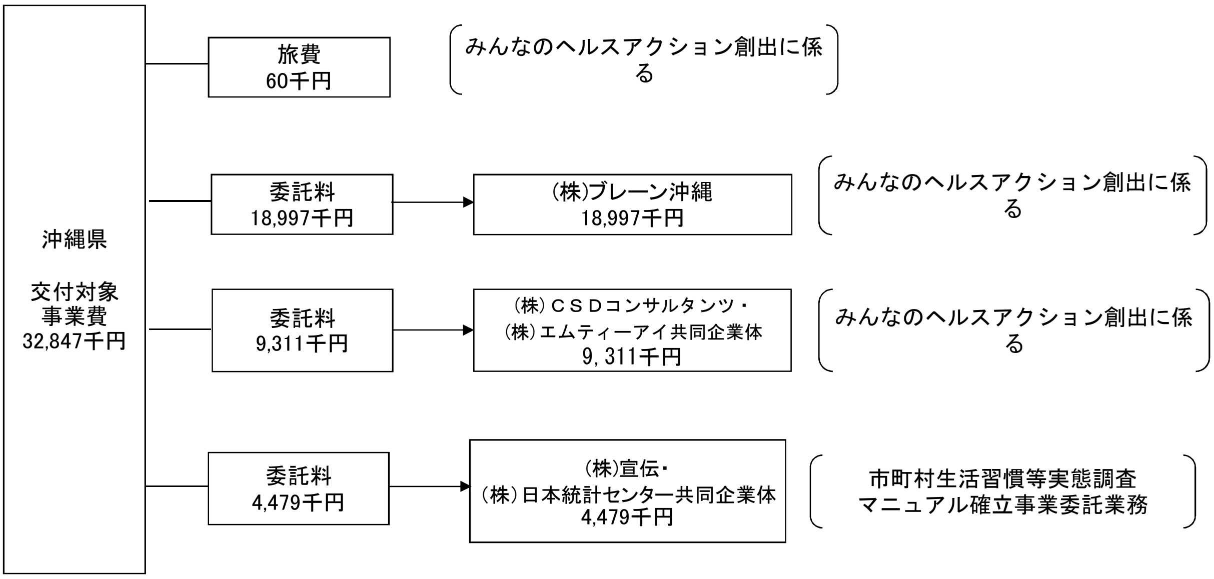
今後の取り組み方針

・働き盛り世代の健康づくりは、優先度の高い分野（特定健診・がん検診の勧奨、アルコール対策）に集中させ、広く県民への広報活動を展開する。健康づくり以外の関心事を入口とするため他団体主催イベントとのコラボ等による広報も継続して実施する。
・従業員の健康を財産とみなす「健康経営」を周知するセミナー実施や沖縄版健康経営ハンドブックを用いた事業者への普及活動など社会環境整備の側面からのアプローチを図る。
・市町村生活習慣等実態調査事業については、市町村からマニュアル内容に対する意見収集しマニュアルへ反映するために、マニュアル検討会議及び市町村向けデータ利用研修会を開催する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,847	32,847	26,277	6,570	0	0	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○広報・イベント事業及び事業所等支援事業の委託事業者は、それぞれ公募型プロポーザル方式により選定した業者である。その費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正であることを確認した。 ○市町村生活習慣等実態調査における調査実施事業者は随意契約（企画競争）により選定した。その費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正であることを確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	198	地域スポーツ活動・健康力向上事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	文化観光スポーツ部スポーツ振興課	事業実施(予定)年度 H29 ～ R1 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容	総合型地域スポーツクラブに対する支援強化を実施するとともに、認知度向上を図り、地域住民のスポーツ活動を通した県民の健康に資する。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　年度）
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】

		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度
予算の状況	(a) 当初予算額	－	－	27,966	－	20,265
	(b) 予算現額	－	－	27,966	－	20,265
	(c) 増減額(b-a)	－	－	0	－	0
	(d) 前年度繰越額	－	－	－	－	－
	A．計(b+d)	－	－	27,966	－	20,265
B．執行済額		－	－	27,808	－	20,178
うち交付金充当額		－	－	22,246	－	16,142
C．次年度繰越額		－	－	0	－	0
執行率（%）(B/A)		－	－	99.4%	－	99.6%
予算の状況の説明	・執行率は99.6%であり、概ね計画的に執行できた。					

活動目標（指標）及び達成状況

H30活動目標（指標）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
健康・スポーツ教室等開催	目標	－	－	－	6件程度
	実績	－	－	6件	5件
スポーツイベント交流	目標	－	－	－	1件程度
	実績	－	－	1件	1件
専門家活用事業参加クラブ	目標	－	－	－	6クラブ程度
	実績	－	－	5クラブ	6クラブ
総合型クラブを題材にした番組の放送	目標	－	－	－	6回（紹介クラブ数：10件）
	実績	－	－	6回（紹介クラブ数：9件）	5回（紹介クラブ数：14件）

達成状況説明
・健康・スポーツ教室等開催については、目標6件程度に対し実績5件となった。
・スポーツイベント交流、専門家活用事業参加クラブについては、目標値を達成した。
・総合型クラブを題材にした番組の放送回数は6回の目標に対し5回となったが、紹介クラブ数は目標を上回った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H30成果目標（指標）		基準値（－年度）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（R1年度）
①総合型地域スポーツクラブの認知度	目標	－	－	－	26.5%	31.5%
	実績	－	－	22.1%	18.7%	-
②健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意志がある参加者の割合	目標	－	－	－	80%	80%
	実績	－	－	－	83.3%	-
【参考指標】スポーツ実施率（成人、週1回以上）	目標	－	－	54.6%	57.2%	59.8%
	実績	39.0%（24年度）	42.2%	37.0%	41.4%	-

進捗状況説明
①総合型クラブの認知度については、「県民の体力・スポーツに関する意識調査」で把握を行ったが、前年度比3.4%減の18.7%に留まり、目標を達成できなかった。

②教室終了後も運動・スポーツを継続して実施する意志がある参加者の割合は、週に1回以上実施予定が56.2%、月に1～3回程度が25%、3ヵ月に1～2回程度が2.1%で合計83.3%となり、目標を達成した。

・参考指標の沖縄県PDCAの成果目標である「スポーツ実施率（成人、週1回以上）」のH30目標は未達成となっている。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
①県内の総合型地域スポーツクラブの認知度は18.7%であり、全国平均値の31.4%（平成28年度）と比較すると低い状況にある。 ②-1 健康・スポーツ教室等開催事業において、参加者の男女比は約1.5：8.5となっており、女性に比べ男性の参加率が低かった。 ②-2 スポーツイベント交流事業において、総合型地域スポーツクラブの認知度に係るアンケートを実施し、既に知っていた割合が25%、今回のイベントで知った割合が30%であった。	①総合型地域スポーツクラブの認知度について、事業実施クラブの教室開催支援、スポーツイベント開催、各種メディアを活用した情報発信等により認知度向上を図る必要がある。 ②-1 健康・スポーツ教室等開催事業において、成人男性の参加率を高めるため、事業周知方法や教室プログラムの見直しを図る必要がある。 ②-2 スポーツイベント交流事業においては、総合型地域スポーツクラブの認知度向上が目的の一つとなっているため、周知方法の改善を図る必要がある。

今後の取り組み方針

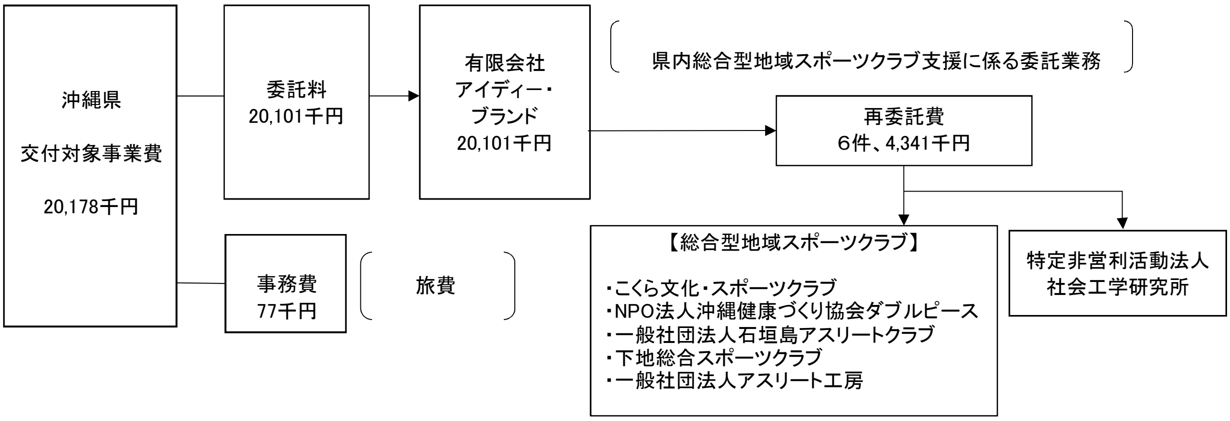
①、②-2 大規模なスポーツイベントの開催やイベントにおける総合型地域スポーツクラブ紹介ブースの規模の拡大、「県民の体力・スポーツに関する意識調査」の実施と併せた広報活動等により、クラブの役割や活動の情報発信を強化する。
　教室事業において、男性が参加しやすい内容への見直しを検討する。

②-1 健康・スポーツ教室等開催事業において、男性が参加しやすい教室プログラムへの見直しを検討する。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
20,178	20,178	16,142	4,036	0	0	0



資金の流れ、使途・費目の点検

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募を行い、選定委員会を開催し、実績、知識、企画提案内容等を勘案した上で決定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、額の確定時において、支出等に関する書類から事業の目的を達成するために必要最小限であるかを確認し適正であったと判断した。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	204	がんじゅーどー事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(1)－イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	土木建築部　道路管理課	事業実施（予定）年度：H 26 ～ R 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－11－(2)

事業内容	ウォーキング等に利用しやすい道路空間を形成し、県民の健康づくりを推進するため、道路空間の整備を行う。
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】

		H28年度	H28年度（繰越）	H29年度	H29年度（繰越）	H30年度
予算の状況	(a) 当初予算額	161,000	－	54,000	－	28,700
予算の状況	(b) 予算現額	161,000	－	54,000	－	28,700
予算の状況	(c) 増減額 (b-a)	0	－	0	－	0
予算の状況	(d) 前年度繰越額	0	－	0	－	0
予算の状況	A．計 (b+d)	161,000	－	54,000	－	28,700
B．執行済額		158,929	－	40,086	－	27,999
うち交付金充当額		127,143	－	32,069	－	22,399
C．次年度繰越額		0	－	0	－	0
執行率（%）(B/A)		98.7%	－	74.2%	－	97.6%

予算の状況の説明	・執行率は97.6%であり、概ね計画的に執行できた。

活動目標（指標）及び達成状況

H30活動目標（指標）		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
・モデル路線の整備（2路線）	目　標	モデル路線の整備（5路線）	モデル路線の整備（5路線）	モデル路線の整備（2路線）	モデル路線の整備（2路線）
	実　績	モデル路線の整備（5路線）	モデル路線の整備（5路線）	モデル路線の整備（2路線）	モデル路線の整備（2路線）
	目　標				
	実　績				

達成状況説明	・モデル2路線をウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間として整備し、活動目標を達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H30成果目標（指標）		基準値（H26年度）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（R3年度）
・モデル路線（5路線）におけるウォーキング・ジョギング等の利用者数 276人／日	目　標	－	－	－	利用者数 276人／日	利用者数 300人／日
	実　績	利用者数 187人／日	－	－	利用者数 288人／日	－
【H29の成果目標】・計画路線の整備　L=1.0km	目　標	－	－	モデル2路線の整備（1.0km）	－	－
	実　績	－	－	モデル2路線の整備（0.65km）	－	－
【H28の成果目標】・モデル路線の整備 5路線　L=4.0km	目　標	－	モデル5路線の整備（L=4.0km）	－	－	－
	実　績	－	モデル5路線の整備（L=4.0km）	－	－	－

進捗状況説明	・モデル2路線の整備を推進することで、モデル5路線の利用者数が増加し、目標値を達成した。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
・都道府県別平均寿命の順位で沖縄県は2015年（平成27年）の全国順位が男性36位、女性7位と1985年（昭和60年）を最後に下がり続けており、健康長寿沖縄のイメージが低下している。 ・「健康長寿おきなわ復活県民会議」にて、事業の情報提供を行った結果、県の広報紙「美ら島沖縄」に事業内容を掲載され、広く県民に周知を図ったが、未だモデル路線3路線の整備が完了していない。	・都道府県別平均寿命の順位で沖縄県は2015年（平成27年）の全国順位が男性36位、女性7位と1985年（昭和60年）を最後に下がり続けており、健康長寿沖縄の復活に向けて、ウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間を形成し、日常的に運動できる環境を整える必要がある。 ・未完成路線において、拠点と拠点を早期に結ぶことで、周遊性の向上や、整備区間を延長し、歩く目標や利用効果が得やすいようにする必要がある。

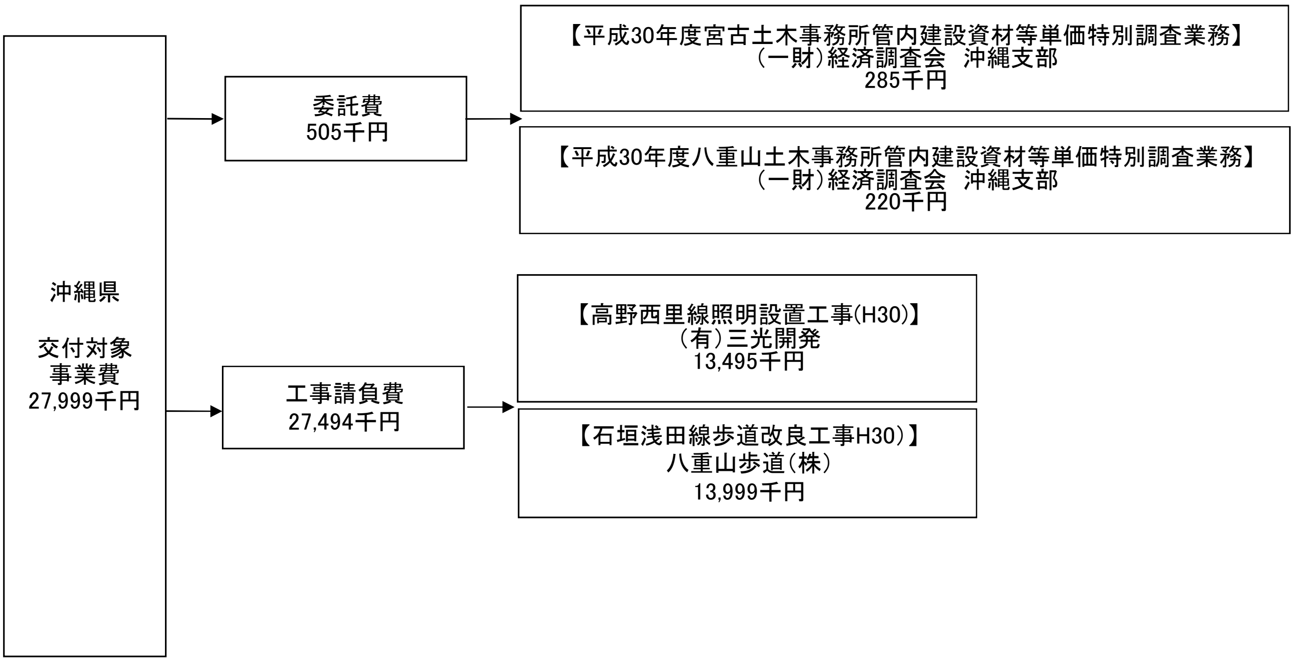
今後の取り組み方針

・令和3年度までに全路線の整備を完了させるため、未完成である3路線において、早期完成に向け整備を推進するこで、安全で気軽にウォーキング・ジョギング等に利用しやすい道路空間の形成を行い、利用者の増加を図っていく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
27,999	27,999	22,399	5,600	0	0	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価

評価	点　検　項　目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	